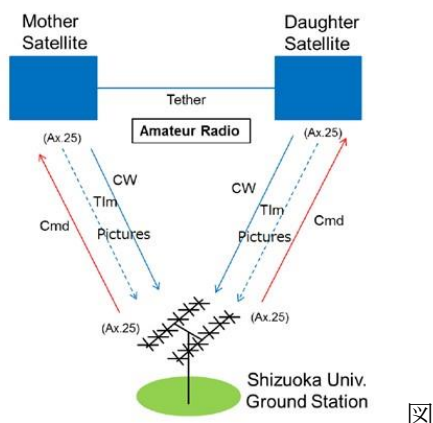


平成 28 年度

静岡大学アマチュア無線クラブ活動報告書

活動内容・目的詳細

本サークルは衛星の宇宙実験ミッションを遂行するために、衛星運用を目的としている。静岡大学初の衛星ということもあり、本県の宇宙事業を広めるきっかけになると考える。また、本サークル名である「静岡大学アマチュア無線クラブ」は総務省に正式に認められた無線局の社団名と同様である。



1 衛星通信系統図

本衛星はアマチュア無線周波数帯を用いているため、ほかの地上局から受信可能であり、資格なくとも誰でも受信できることから、県外との関わりから地元小中学生まで幅広く、輪を広げることができる。

事業開発マネジメント(MOT)専攻、鈴木康之教授の紹介の元、本校で開催される親子教室「ものづくりダビンチキッズ」に参加させていただき、地元小中学生に静岡大学での衛星を積極的にアピールしている。今後としても、小中学生向けの衛星受信機会を設けることや日本アマチュア無線連盟(JARL)、日本アマチュア衛星通信協会(JAMSAT)の行事に進んで参加することで、地域貢献していく展望である。



図 2 ものづくりダビンチキッズ参加風景

衛星は平成 28 年 12 月 19 日に国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」から放出から放出され、本格的な運用が始まった。放出以前に、運用に備えた予行練習をすることで、実運用では正確に衛星からのビーコン受信に成功した。また、UNISEC のワークショップに参加することにより、他大学間、アマチュア無線家との交流を深め、協力を促した。



図 3 打上ライブビューイング



4 実運用風景

運用メンバー達は運用を通して、衛星についての知識、興味を深め現在では衛星開発に関する学習を行っている。将来的には、実開発にたずさわって、静岡大学衛星開発体制の構築につなげていく展望である。